

氏名	重 政 勝 之
学位の種類	医 学 博 士
学位授与番号	博 甲 第 870 号
学位授与の日付	平成2年 3月31日
学位授与の要件	医学研究科外科系整形外科学専攻 (学位規則第5条第1項該当)
学位論文題目	片側変形性股関節症における大殿筋筋力の評価
論文審査委員	教授 折田薫三 教授 寺本 滋 教授 村上宅郎

学 位 論 文 内 容 の 要 旨

片側変形性股関節症で人工股関節全置換術を行った患者における術前後の大殿筋の筋力を、等速運動性筋力測定機器と筋電図によって評価した。結果は同年代の健常者の値と比較した。筋力測定では、対象者の平均値は同年代の健常者に比べ、最大トルクで35%、瞬発力で29%および持久力で82%であった。最大トルクは術後1年以上でも69%にすぎなかった。筋電図検査は大殿筋と大腿四頭筋に行ったが通常の大腿四頭筋等尺性収縮訓練の時の、大殿筋はあまり活動しておらず、大殿筋も同時に収縮するよう指導することによって1週間後の大殿筋筋力は統計上有意に増加していた。また大殿筋の同時等尺性収縮によって、大腿四頭筋の活動も一層増加することが確かめられた。

論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本研究者は、片側変形性股関節症で人工股関節全置換術を行った患者における術前後の大殿筋の筋力を、等速運動性筋力測定器と筋電図により調査している。通例の大腿四等筋等尺性収縮訓練に加えて、大腿筋の運動も加味した大殿筋の同時等尺性収縮訓練を1週間行うことにより、股伸展筋力の最大トルク、瞬発力が有意に上昇することを認めている。手術後のリハビリにおいて重要な知見を得たもので、本研究者は医学博士の学位を得る資格のあることを承認する。